

藝文やまなし

山梨県芸術文化協会会員研修会

生きがいづくりの考察
価値ある自分づくりをどう創るか
評論家 早稲田大学教授 加藤 三先生



平成12年3月

Vol.2

CONTENTS

- 随想「山梨県文化功労者賞を受賞して」2
- 山梨県芸術文化協会平成11年度総会3
- 山梨県芸術文化協会研修会3
- 部門報告4
- いんふおめーしょん8
- 賛助会員の紹介8

随 想 「山梨県文化功労者賞を受賞して」



●天野 宣 (あまの せん)

生年月日 昭和9年4月20日
経 歴 昭和48年 天野宣と若道発足
昭和61年 かいじ国体オープニング曲
作曲・指揮・演奏
昭和62年 天野宣と阿羅漢発足
平成元年 甲府市民栄誉賞受賞
平成4年 ねんりんピック式典で演奏
平成5年 フランス・ボー市名誉市民賞受賞
平成7年 野口賞受賞

山梨県文化功労者賞は、私には誠に分に過ぎたる賞であって、却って身の縮む想ではありますが、永年太鼓音楽普及活動을 続けて参った結果、私なりの将来像を併せお認めいただいた事は、何物にもかえがたい喜びでございました。

この受賞は私個人のものでは無く、苦楽を共にして来た、県内はもとより全国の門弟達を始め、今日迄並々ならぬご支援を下さった、大勢の皆様方と共にいただいた賞と受け止めております。特に高校教育の選択授業に導入された今日、笛太鼓のもつ伝承目的を更に大きく、意義付けていただいた訳であります。

私の過去の実績はともかく、将来山梨の、いや日本の文化レベルの向上に貢献せよとの、ご命令とも受け止めております。

思えば敗戦と同時に、公に対する国民の不信は、ついに個々の自律を駆り立て、其の結果エゴイズムまでが定着し、やっと豊かさを取り戻したものの、今日、誠に勝手が通用し、嘗て、世界の冠たる民族

として、優しさや細やかなる感性までが殺伐とし、何が起るか解らない世相にあっては、個々の努力も然る事乍ら、一つに成って、日本の将来を考える様な、^{しみじみ}沁沁とした優しき心を取り戻したいものであります。政治も教育も道徳も時に宗教も大切でしょうが、我々の芸術文化も同等に、其の社会的責任を果さねばなりません。

感動を伝え感性を甦らせていただくような、小さくとも熱き行動、そんな理想や主張を示す活動を、今、最も必要な時と考えております。社会は当然の毎く、様々な力関係により、都合良く変貌するを常とする訳ですが、人としての文化の階位をまで低落させる訳には参りません。押し付けや決め付けはいけませんが、幸福になるという一点で、みんなが心一つにする必要性を感じます。私のステージは、其の様な訴えを与えられた責任として、続けて参る所存です。二月中はヨーロッパ公演ですが、諸外国の例に見る様に「舞台人は、レベルの高いオーディエンスによって磨かれていく」、そんな域にまで県民の文化意識を尚一層高めたいものだと感じております。

山梨県芸術文化協会 太鼓部門長

天野 宣

■表紙題字 金井 昭堂 (書道部門長)

■表紙写真 平成12年2月24日 芸文協会員研修会全体会 講師 加藤 諱三氏

山梨県芸術文化協会 平成11年度総会

平成12年2月24日、県立文学館において平成11年度総会が開催され、次のように平成12年度事業計画が承認されました。

1 協会運営273千円

●総会・理事会

本会の運営及び各種事業の計画・実施を行うため、必要に応じて随時開催する。

総会年 1回 理事会年 4回

●部会・部門会議

連携事業を図るため、部会及び部門会議を必要に応じて開催する。

2 山梨芸術劇場の開催(県委託事業)2,205千円

山梨県から協会が受託し、山梨芸術劇場として6公演を実施する。

開催にあたっては、各市町村・小中高等学校等から開催希望を取り、双方協議の上理事会において公演演目を決定する。

3 芸術文化事業の後援

会員が実施する事業に対して、申請により後援名義の使用を認める。

4 芸術文化講習会の開催788千円

指導者養成のための講習会を6回実施する。

5 「藝文やまなし」の発行840千円

各芸術文化団体・市町村・小中高校・各公立文化施設・報道機関等への情報提供を行う。

(年2回発行発行部数各4,000部)

6 会員名簿の作成

会員名簿500部作成し、市町村・各関係団体・小中高校等へ配布。



7 指導者派遣事業600千円

県民の芸術文化活動を支援し、芸術文化の振興を図るため、学校や市町村からの要請に基づき指導者の派遣を行う。

8 会員研修会800千円

芸術文化活動を活発に展開するため、会員の研修会を開催する。

全体研修会 1回

部会別研修会 3回

計画については、発表・展示・舞台の各部会の事業として、実施時期・内容等検討し、開催する。

山梨県芸術文化協会 全体研修会

生きがいつくりの考察 『価値ある自分づくり』をどう創るか

平成12年2月24日 pm1:30～ 場所 県立文学館 講師 加藤 諦三氏

●講師紹介

かとう たいぞう
加藤 諦三 (評論家・早稲田大学教授)

〈講師プロフィール〉

1938年 東京生まれ
1963年 東京大学教養学部教養学科卒業
1968年 同大学院社会学研究科修士卒業
1973～75年 ハーバード大学研究員
1975～76年 ラジオ講座「百万人の英語」講師
1976年 TVKテレビ「学歴社会を考える」シリーズの構成及び総合司会でギャラクシー賞受賞
1981年8月 デ・ラサール大学交換教授「国際交流基金派遣」
1990年～91年 ハーバード大学研究員

ハーバード大学の研究であるが、10年という生活に浮き沈みがあるはずだけれど、幸せだと思った人は10年たっても幸せ。不幸だと思った人は不幸という結果が出た。

事実は変化しても其の事実をどう解釈するかが大切。

米国大不況の頃、その状況をどうのり越えたか、経営者の態度を調査した。

乗り越えた人は、不況を自分に対する挑戦・課題と受け取った。

これは不況という事実をどう解釈し、どういう態度で望んだかである。

事実そのものより、その解釈が大切。

我々はものを見るとき事実を絶対視しがちである。

しかし、人に影響を与えるのはその解釈である。

たとえば飛び箱の5段がとべない子がいて失敗した時の感じ方で、

①好きでない子—くやしい、はずかしい、周囲の目が気になる。

②好きな子—周囲に関係なく次にはどうすればとぶことができるか夢中になる。

自分が失敗して落ち込むのは、人の目を気にしている証拠。本当に好きなことをやっているとはいえない。

自分に対する事実は変わらない。自分に対する解釈が大切。

今の日本では、とても多くの人が自分をダメだと思いつこんでいる。

自分の事実を素直に認め、その姿を自信をもって解釈することが理想である。

●悲観主義—内的解釈

自分の中に原因を求める。自分をキズつける方向で解釈。かってに先まで悲観する。悩みをどんどん拡大する。

●楽観主義—外的解釈

自分の外に原因を求める。悩みを拡大しない。原因を特定することができる。

「幸せかい?」「幸せだよ。金がないことをのぞけばね」

●ハーバード大学で40年～49年内の調査

楽観主義者 — 老いても健康

悲観主義者 — 老いても不健康

結果のみに目をむけず、過程に目を向ける必要がある。また、様々な事実がある。ペイブルースはホームラン王として有名。しかし、三振王でもある。どの事実を選びどう解釈するかによって見える世界は全て違う。

こんなにまじめに努力して一生懸命子育てをしたのに子どもは家庭内暴力。夫とも上手いかわからない。どうして? とまじめで努力家の方から質問される。

どこがまちがっていたのか。悪いことをして人生が違ってしまったのならな納得がいく。

今問題になっているのは簡単なものではなく、非常に教育熱心なんだが子どもが上手いかわからない。

その人たちはどう考えていいかわからない。やったことがまちがいでない。自分がなぜそのことをやったかという動機を反省していない。大抵、ものごとが上手いかわからない場合、その原因はその動機にある。

「価値ある自分づくり」

事実が大切でないとは言わないが、事実に対する解釈を注意しなければいけない。自分がどういう事実に向いているかを注意しなければいけない。人間関係が上手いかわからない時は、なぜそのことをやっているかという動機に問題がある。そしてその動機を反省する。

だいたいこれだけすると、価値ある自分に、なんとなく自分に自信がついてくるのではないかと思う。

芸術について直接の話ではなかったが以上で終わります。

部 門 報 告

茶道部門

第52回山梨県芸術祭は、山梨県芸術文化協会加入を期に、晴れて主催団体として正式加入が認められました。茶道部にとって長年の念願だっただけに喜びも一入、格別の想いで参加致しました。

その第52回芸術祭は、平成11年10月2日、県立総合女性センターに於いて、裏千家、有楽流、江戸千家、表千家、大日本茶道学会の五流派が一席ずつ担当し、いづれも多目的会場を、立派に風情ある茶席に調えて、芸術祭に相応しい内容豊かな茶会をくりひろげました。約600名の参加者で終日賑わいました。

美術部門

美術部門は協会の性格が理解し難く加入が遅れたなど、部門としての活動は芸術祭美術展以外にない。もともと各団体とも独自の活動計画による展覧会、研修会など組まれており、芸文協の美術部門としての活動は、各団体の持てる個性、時間的経済的な困難もある。

第52回芸術祭美術展は、10月14日から20日まで県立美術館一般展示室で開催された。(県共催)一般応募は150点、入選79点と招待作品による展示であった。

美術部門の所属する展示部会による県民ギャラリーオープン記念合同展(6月24日～29日)に、16名の会員が出品した。

写真部門

今年度の写真部門の主要な活動は、第52回県芸術祭写真展の開催であった。公募要項の審議から展示準備まで、延べ6回にわたる専門委員会を行い、円滑な運営を期した。その成果は、応募総数は昨年度を上回る924点となり、県下最大の写真展にふさわしい、質量ともに充実した写真展であった。また、会期最終日には、審査員を招き美術館講堂で「写真セミナー」を開催し、更に市川大門町と富士吉田市で巡回展を実施するなど、内容豊富な芸術祭であった。

その他の活動では、県民ギャラリーオープン記念展に、写真部門では、自由作品18点を出品した。

書道部門

◎書作家連盟

●第2回山梨書作家展

日 時 6月19日(土)～25日(金) 場 所 県立美術館
出品者 95名

●第7回チャリティー色紙展

場 所 山日YBS地下ホール
出品者 76名

◎県書道会

●第27回県書道会展

日 時 12月4日(土)～10日(金) 場 所 県立美術館

●創立30周年記念式典

日 時 12月5日 場 所 厚生年金会館

●第60回山日YBS席書大会

日 時 2月6日
参加者 一般400名

◎県書道協会

●第51回県書道協会展覧会

日 時 6月13日(日)～18日(金) 場 所 県立美術館
出品者 学生 147点 会員 1,692点

●第34回夏季研究大会

日 時 7月31日(土)～8月2日(月)
場 所 甲府市御岳文芸座

●第51回学生書道展・併催会員作品展

日 時 11月19日(金)～26日(金) 場 所 県立美術館
出品者 学生部1,732点、会員126点

◎鷗盟社

●刻字錬成会・総会

日 時 1月31日 場 所 富士レークホテル

●山梨刻字展

日 時 5月21日～27日 場 所 県立美術館

華道部門

◎第9回山梨県華道協会展

日 時 平成11年4月16日(金)～21日(水)
会 場 岡島百貨店7階特設会場
出瓶者数 510名
入場者数 4700名

◎県民ギャラリーオープン記念

県芸術文化協会展示部門合同展

日 時 平成11年6月24日(木)～29日(火)
会 場 県民ギャラリー
出瓶者数 24流派72名

◎第52回山梨県芸術祭華道展

日 時 平成11年10月7日(木)～12日(火)
会 場 県民会館地下展示場

出瓶者数 250名

入場者数 1600名

◎県生涯学習推進センターいけばな展示奉仕

参加流派 24流派

展示期間 平成11年1月～12月

発表作品 26作品(月2～3作品)

※県芸術祭参加華道展の開催をはじめ県華道協会々員流派による華道部門の活動を報告いたしましたが、その他会員流派による単位活動についても県内各市町村の文化祭華道展開催の他流派展開催等年間を通して数多くのいけばな振興活動を実施、県民文化の昂揚の一助になった一年であったと思います。又本年度実施された芸文協展示部門合同展は予想を越えた収穫があったと思います。

フラワーデザイン部門

芸文協フラワーデザイン部門として歩みを始め、多くのご協力を頂き少しずつ前進できました事を第一に感謝いたします。春には会員相互の向上の為講習会を開催、歴史からの発展の中、今話題のワックス技法を生花に活用違った魅力を再発見しました。

秋には今迄の芸術祭参加の形とは変り部門として初参加、県民に真のFDを披露したいと県民ギャラリー全フロアを200余点の作品で飾り、会期中4回35名がデモンストレーションをし、日頃研鑽した技術と想いを披露。2日間の会期中約3000人の入場者を得、盛会の中に確実な一歩をきざむ事が出来ました。

音楽部門

県芸文協と県芸術祭実行委員会の共催による芸術祭総合舞台が開催されました。出演した各部門が独立した舞台を作りましたが、進行が快適で予定の150分で終了できたのは、長時間の公演から生じる飽きもなく皆さんに鑑賞してもらえたと思います。ただ内容が部門ごとに独立した舞台の連続に終止し、盛り上がり欠けたうらみがありました。総合舞台は各部門の枠を外し総合プロデュースをすれば県内芸術文化団体の総力を挙げたものという特色ある大型で華麗な舞台が出来ましょう。さて、今回の音楽部門は、梨響とマンドリン音楽連盟の出演でしたがそれぞれ好演でした。総合舞台なので音楽と合唱が共同して大型の舞台を作り上げる選択肢があってもよいと考えます。

民謡民舞部門

民謡民舞部門は、唄が10団体、踊り4団体で山梨県民謡舞踊協会を構成し、第32回から芸術祭民謡民舞大会に参加して郷土の伝承民謡民舞を発掘上演してきました。昨年9月26日の第52回大会には全国民謡を含め34曲を発表しました。また、11月14日の総合舞台には、県内に伝わる盆踊唄から代表的な唄と踊り4曲を発表しました。時代の変化により消え去ろうとしている古い唄や踊りを新しくアレンジして後世に伝えようとしています。

これからも講習会などを開き、郷土民謡の普及と保存を積極的に推進していきます。

合唱部門

第39回山梨県合唱連盟主催山梨県合唱祭

日 時 6月20日(日)

参 加 中学2、高校7、一般25、職場1、合同2、
39ステージ、780名参加

場 所 甲府市総合市民会館 芸術ホール

全日本おかあさんコーラス関東大会

日 時 7月10日(土)～11日(日)

場 所 横浜みなとみらいホール

山梨県第1回合唱講習会

日 時 7月18日(日) am9:30～12:00

対象・参加 小中学生120名

場 所 県民文化ホールリハーサル室

山梨県第2回合唱講習会

日 時 7月18日(日) pm1:00～5:00

対象・参加 高校、大学、一般110名

場 所 県民文化ホールリハーサル室

第54回全日本合唱コンクール関東支部山梨県大会

日 時 9月5日(日)

対象・参加 中学5、高校8、大学2、一般8、参加23団体

場 所 韮崎市民文化ホール

第52回山梨県芸術祭合唱祭

日 時 10月11日(日)

対象・参加 参加団体13、高校合同ステージ全員合唱、

ステージも加え盛大に終了。参加人員585名

場 所 山梨県民文化ホール小ホール

山梨県ママさんコーラス大会

日 時 11月21日(日)

場 所 県民文化ホール小ホール

第52回山梨県芸術祭総合舞台ステージセレクション

日 時 11月14日(日)

場 所 県民文化ホール大ホール

第11回山梨県民音楽祭

日 時 12月12日(日)

曲 目 ベートーベン「田園」

ヨハンシュトラウス「美しき青きドナウ」他

場 所 韮崎市文化ホール

第1回山梨県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

日 時 12年2月6日(日)

共 催 県合唱連盟・高校文化連盟合唱部会

参 加 36団体

場 所 都留市文化ホール

第3回山梨県合唱講習会

日 時 2月13日(日)

対象・参加 ママさんコーラス 参加人員100名・合唱に
おける発声指導

場 所 双葉ふれあい文化館

演劇部門

演劇部門では部会研修会を下記の諸団体の皆さまと共に実施した。全国16の自治体で文化行政のアドバイザーとして活躍する地域文化オルガナイザーの衛紀生氏（演劇評論家・早稲田大学文学部講師）を招いて「21世紀の公共ホールをめぐる文化行政の在り方、地域で活動する芸術関係者の意識改革」について講演会を実施した。内容が広範囲にわたることもあって、関係諸団体の皆様のご協力を得ながら実施することができました。

日 時 平成11年6月20日(日) 13:30～17:00

場 所 県民文化ホール3F リハーサル室

主 催 山梨芸術文化協会（舞台部会演劇部門）・やまなし文化学習協会・'99やまなし Theater College 実行委員会・山梨県公立文化施設協議会

共 催 財地域創造・山梨県・山梨演劇協会

参加者 57名

氏は、ただ「いいものをやればいい」などという時代は去った。行政も演劇、音楽関係者、そして一般市民も、これまでの考え方に縛られ過ぎている」ことを力説した。

邦楽部門

5月23日(日) 山梨三曲協会春季演奏会 県民文化ホール
6月19日(日) 山梨三曲連盟定期演奏会 県民文化ホール
7月10日(日) 竹の和尺八演奏会 県民文化ホール
10月3日(日) 芸術祭邦楽部門大公演会 県民文化ホール
11月14日(日) 山梨県芸術祭総合舞台
県民文化ホール（大ホール）

今まで通りの芸術祭に、今年度発足した芸文協の会員が始めて参加し、出演者はそれぞれの分野で一生懸命努力したのですが、今年は準備期間が短かったため大変で、観客の動員が思うにまかせませんでした。芸術文化向上のため新聞・放送等へのアピールをもっとお願い致します。

洋舞部門

- (1) 4月 部門総会 部門としての活動の方向と、芸術祭の内容や役割の検討を行う。
- (2) 7月 4月～7月までの芸文協の議事内容などの報告書を作成、全会員に送付した。
★一年を3期に分け伝達や会議内容の報告を行うこととする。

- (3) 10月30日(土) 芸術祭洋舞公演 <オータム><心うかれて・そして><海賊より・グラン・パ・ド・ドゥ><檸檬色の月><1999年><風と歌う>の6作品の外、若手会員創作の<Wilh>が上演された。第1回、2回公演とも満席で、約1500名が来観し盛会裡に終了した。
- (4) 12月 第2回目の部門報告書を作成送付した。

文学部門

芸術祭文学部門。例年通り、5月専門委員会、公募要項検討。8月末日公募〆切り、9月各部門選考、入賞者発表。12月文学館研修室に於て、表彰式及び県民文芸1999年号発行。

芸文協事業として、文化講習会。小説部門同人誌懇話会担当。10月17日(日)県立総合女性センターに於て、「今語り継ごう、戦争体験、平和体験」と題して講師3人を中心にシンポジウム。参加者86名、特に都留からの女子大生参加、印象的。

初めてのことで、7回8回の会合、組織上、実行上の時期などの考慮必要かと。

吟剣詩舞道部門

◎第49回全国吟剣詩舞コンクール山梨県大会を次のとおり開催し、山梨県各部の代表を選出した。

- 第1会場 4月18日(日) JA会館大ホール
合吟・連吟の部 出演217人
- 第2会場 4月25日(日) JA会館大ホール
吟詠(独吟)の部 出演132人
- 第3会場 5月9日(日) 双葉町ふれあい文化館
剣詩舞の部 出演43人
- 第4会場 9月26日(日) JA会館大ホール
少壮吟詠家の部 出演19人

◎山梨県芸術祭参加第52回吟剣詩舞道大会を開催

- 日時・場所 12月19日(日) 甲府市総合市民会館
- 参加 傘下の36団体から約800人が参加して、吟詠、剣詩舞、企画構成吟詠等を発表した。

◎平成11年度吟詠研修会

- 日時・場所 9月26日(日) JA会館大ホール
- 内容 作曲家船川利夫先生を講師として、350名の会員が受講した。

◎第14回国民文化祭ぎふ'99 全国吟詠剣詩舞道祭

- 日時・場所 10月24日(日) 岐阜市長良川国際会議
- 内容 女子25人組の合吟(吟詠)を披露した。

◎全国吟剣詩舞道大会

- 日時・場所 11月14日(日) 日本武道館
- 参加 吟詠、剣詩舞に150人が出演した。

◎県芸術祭総合舞台

- 日時・場所 11月14日(日) 県立文化ホール
- 参加 詩舞3組

日舞部門

平成11年10月2日(土)に県芸術祭日本舞踊公演を発表させて頂きました。番組は古典曲八番でございましたが、内容的には充実しており参加の意義を感じました。小ホールでしたが客動員も8～9割はあり盛会でございました。

なお11月14日(日)の総合舞台は、今回は観客として内容を見させて頂き、大変勉強になりました。山梨の文化に参加することによって、あらゆる分野の方々と接し向上してゆくことは、尊いことと思いました。12年度は、是非総合舞台にも参加してゆく心算でございます。

朗読部門

1999年に芸文協発足と同時に「朗読部門」が設置され、芸術祭で即「朗読部門公演」が実現したことに、関係者の皆様の惜しみないご援助とご尽力の賜物と心から感謝しております。

これは、今日まで県内各地で朗読の研鑽と発表活動を続けてこられた皆様の活動の積み重ねがあればこそと感慨深いものがあります。1999年11月27日(日)、第52回山梨県芸術祭最後の公演として山梨県文学館講堂で「朗読公演」を行いました。

約2倍の応募者の中から選抜された12の個人・団体が4市・4町から出演されました。

民謡・エッセイ・童話・小説・詩などの作品を、一人で、あるいは数人の群読で、時には音楽効果なども交えながら朗読されました。何もかも手探りの「第1回公演」としては、成功できたかと自負しております。

この公演に至る中で得た数々の教訓を来年度の公演に生かして、さらに朗読部門の発展に寄与したいと思っています。

その他部門

山梨芸術家協会では、昨年12月13日(月)に恒例となりました年末の懇親会を古名屋ホテルで開催いたしました。今年度は、協会の各ジャンルから約30名の会員が参加し、日頃の活動状況や、考えていることなどを話す一分間スピーチなどで相互の親睦を深めました。また、これも恒例となりました、会員によるアトラクションが行なわれ、今年度は、古市恵美子会員のソプラノ独唱に合わせ、原寿美会員が日本画(水墨画)を描くというもので、会員からも賞賛の拍手が上がりました。終止、和やかな雰囲気の中、熱い芸術論もあり、終了いたしました。

ユミクラシックバレエスタジオ

ユミクラシックバレエスタジオ第8回発表会を
2000年4月9日(日)午後3時より県民文化ホール大ホ
ールにて開催します。

スタジオ開設15周年を記念し『眠れる森の美女』
全幕他を上演します。

▶問い合わせ 055-253-2100

山梨県華道協会行事予定

●第10回華道協会展

日時 2000年4月14日(金)～19日(水)

場所 岡島百貨店7階

●山梨県華道協会設立10周年記念式典及び祝賀会

日時 2000年8月20日(日)

場所 富士屋ホテル

甲府室内合奏団

●甲府室内合奏団25周年記念演奏会

日時 7月1日(土) PM6時30分

場所 県民文化ホール(小)

曲目 芥川也寸志「弦楽のための三楽章」

バッハ「2つのヴァイオリンのための協奏曲」

モーツァルト「交響曲28番ハ長調」他

▶問い合わせ 055-252-6122 (小池 郷二)

●甲府室内合奏団ウィーン特別演奏会

日時 11月4日(土) (11月1日(水)出発)

場所 ウィーン ツェルトハウス

▶問い合わせ 055-220-2422 (竹原 久美子)

山梨県観世流同好会 活動予定

●4月初旬

観世流同好会役員会開催

●5月下旬

観世流同好会春の謡会開催

●9月中下旬(2回)

県芸術祭邦楽部門出演種目練習会開催

設和 幹展

●日時 2000年4月16日(日)～22日(土)

場所 ギャラリー悠玄(東京都中央区銀座6-3-17)

●日時 2000年4月23日(日)～29日(土)

場所 県立美術館

賛助会員の紹介

キープ総合舞台	甲府市岩窪町372
日本ネットワークサービス	甲府市富士見1-4-24
牧宏	山梨市小原西1045-2
裏千家流	甲府市塩部3-8-8
表千家流	甲府市貢川本町18-17
江戸千家流	甲府市川田町1017
有楽流	甲府市宝2-13-4
大日本茶道学会	甲府市中央2-7-15
フラワーアーティスト協会	甲府市宮前町1-3-113
サカエヤスタジオ	甲府市若松町5-12
菊岡まつ乃(No.1)	昭和町清水新居1512
内藤成雄	富士吉田市下吉田827

山梨県吟剣詩舞道総連盟	甲府市富士見2-2-5
大柴印刷所	甲府市城東2-25-18
なみの会	甲府市塩部4-4-6
菊岡まつ乃(No.2)	昭和町清水新居1512
石川看板店	甲府市相生2-8-15
甲和工業株式会社	甲西町荊沢1097
高野工業株式会社	甲西町戸田65
中込電気商会	甲府市丸の内2-4-20
明桃園	櫛形町桃園968
中沢久雄	上野原町上野原5959
シェーネベルク四重奏団	長坂町白井沢847
富士急トラベル(株)	甲府市丸の内2-35-4

平成12年3月1日現在

編集後記

盆地を囲む山々に春の訪れを感じるこの頃です。

芸文協は、多くの皆さまのご協力の中で、満1歳を迎えました。ありがとうございました。

「**芸文やまなし**」が皆さまに待たれる情報誌になるよう、努力と工夫をしていきたいと思っておりますので、
よろしく願いいたします。

芸文やまなし表紙募集 芸文やまなしVol.3の表紙を募集しています。ふるってご応募ください。

■事務局 山梨県 企画県民局 生涯学習文化振興課 芸術文化担当

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1797 FAX 055-223-1322